

年金からの特別徴収における
情報交換媒体作成仕様書
(案)

(社会保険庁－国保中央会間)

目 次

	頁
第1 基本的事項	
1. 1 目的	1
1. 2 規定にあたっての基本的な考え方	1
1. 3 用語の定義	1
第2 具体的事項	
2. 1 磁気テープ関係	2
2. 1. 1 磁気テープの種類	2
2. 1. 2 共通規定事項	3
(1) ハード仕様	3
(2) ソフト仕様	4
2. 1. 3 レコード規定事項(集信用)	18
(1) 市町村回付情報(介護/国保/後期)	18
2. 1. 4 レコード規定事項(配信用)	30
(1) 市町村回付情報(介護/国保/後期)	30
2. 2 コード関係	42
2. 2. 1 コードの種類	42
2. 2. 2 コード仕様	43
第3 個別事項	
3. 1 通知毎の設定項目	48
3. 1. 1 市町村回付情報の設定項目(年次)	48
3. 1. 2 市町村回付情報の設定項目(月次)	49
3. 2 通知毎の仕様(介護/国保/後期)	50
3. 2. 1 特別徴収対象者情報ファイル仕様	50
3. 2. 2 特別徴収依頼情報ファイル仕様	56
3. 2. 3 特別徴収依頼処理結果情報ファイル仕様	62
3. 2. 4 特別徴収結果情報ファイル仕様	68
3. 2. 5 特別徴収各種異動情報ファイル仕様	95
第4 留意事項	
4. 1 項目設定共通事項	114
4. 1. 1 「住所」欄	114
4. 1. 2 「氏名」欄	120
4. 1. 3 「年月日」欄	122
4. 1. 4 「金額」欄	122
4. 2 エラーデータの取り扱いについて	123
第5 文字コード規定	
5. 1 文字コード規定	125

第1 基本的事項

1. 1 目的

この仕様書は、年金からの特別徴収にかかる、社会保険庁と国保中央会間で行う情報交換に使用するカートリッジ型磁気テープの作成仕様を規定するものです。

1. 2 規定にあたっての基本的な考え方

規定については、日本工業規格（JIS）に基づいて作成しました。

具体的には、JIS X 0601（情報交換用磁気テープのラベルとファイル構成）に準じた仕様としています。

また、使用する文字コードにおいても、JISコードとしました。

1. 3 用語の定義

- (1) 市町村回付情報 : 年金からの特別徴収において、市町村と社会保険庁との間で情報交換を行うファイルの総称
(本仕様書においては社会保険庁－国保中央会間の回付情報)
- (2) 集信 : 市町村から社会保険庁へ情報を回付すること
(本仕様書においては国保中央会から社会保険庁への情報回付)
- (3) 配信 : 社会保険庁から市町村へ情報を回付すること
(本仕様書においては社会保険庁から国保中央会への情報回付)
- (4) 介護 : 介護保険料/介護特別徴収/介護特別徴収制度の略称
- (5) 国保 : 国保保険料/国保特別徴収/国保特別徴収制度の略称
- (6) 後期 : 後期高齢者保険料/後期高齢者特別徴収/後期高齢者特別徴収制度の略称

第2 具体的事項

2. 1 磁気テープ関係

2. 1. 1 磁気テープの種類

本仕様書で規定する磁気テープファイルの種類は、表2. 1. 1-1のとおりです。

表2. 1. 1-1 磁気テープファイルの種類

項番	媒体	ファイル	作成元	収録概要(※)
1	特別徴収対象者情報MT (年次)	・介護特別徴収対象者情報ファイル ・国保特別徴収対象者情報ファイル ・後期特別徴収対象者情報ファイル	社会保険庁	・特別徴収対象者情報
2	特別徴収依頼処理結果情報MT (年次)	・介護特別徴収依頼処理結果情報ファイル ・国保特別徴収依頼処理結果情報ファイル ・後期特別徴収依頼処理結果情報ファイル	社会保険庁	・特別徴収依頼処理結果
3	特別徴収結果情報MT (月次)	・介護特別徴収結果情報ファイル ・国保特別徴収結果情報ファイル ・後期特別徴収結果情報ファイル	社会保険庁	・特別徴収結果通知 ・特別徴収追加候補者情報 ・特別徴収追加依頼処理結果通知 ・資格喪失等処理結果通知 ・仮徴収額変更処理結果通知 (6月、7月、8月) ・住所地特例該当者処理結果通知
4	特別徴収依頼情報MT (年次)	・介護特別徴収依頼情報ファイル ・国保特別徴収依頼情報ファイル ・後期特別徴収依頼情報ファイル	市町村	・特別徴収依頼通知
5	特別徴収各種異動情報MT (月次)	・介護特別徴収各種異動情報ファイル ・国保特別徴収各種異動情報ファイル ・後期特別徴収各種異動情報ファイル	市町村	・特別徴収追加依頼通知 ・資格喪失等の通知 ・仮徴収額変更通知 (4月、5月、6月) ・住所地特例該当者通知

※：各収録概要は特別徴収の制度毎に作成され、それぞれのファイルに格納される。

2. 1. 2 共通規定事項

(1) ハード仕様

ハード仕様の項目とその内容は、表2. 1. 2-1の通りです。

表2. 1. 2-1 カートリッジ型磁気テープのハード仕様

項番	項目	内容	備考
1	記録密度	75742BPI / 非圧縮 ※メーカーにより76000BPIと表示されている場合もある。	
2	記録方式	GCR方式	
3	トラック数	36トラック パリティモードは奇数	
4	IBGの長さ	0.079インチ (2.0mm)	
5	使用テープ	テープ幅 12.7mm (1/2インチ) テープ長 540フィート (165m)	

(2) ソフト仕様

ア) 磁気テープのソフト仕様

ソフト仕様の項目とその内容は、表2. 1. 2-2の通りです。

表2. 1. 2-2 磁気テープのソフト仕様

項番	項目	内容	備考
1	ファイル編成	順編成	
2	データ属性	1バイト文字又は2バイト文字	
3	内部コード	1バイト文字 (JIS8単位コード) 2バイト文字(全角文字) (JIS83年度版による第一水準、第二水準。 JIS規定外文字は、1全角の「?」に変換。) 制御キャラクタコード (漢字シフトコードは16進「1B2442」を使用し、 カナシフトコードは16進「1B284A」を使用。)	JISX0201-1976 JISX0208-1983 JISX0202-1991
4	ラベル形式	JIS標準ラベル(水準3) VOL1/HDR1/HDR2/EOF1/EOF2もしくはEOV1/EOV2 が存在すること。 また、UHL、UTLラベルは使用しないこと。 ノンラベルは不可。	
5	ファイル形式	マルチファイル/マルチボリューム	
6	レコード形式	固定長ブロック化レコード(FB形式) ブロック長 29,500バイト レコード長 500バイト	JISX6103 JISX6104
7	データ形式	○ヘッダレコード ○データレコード ○トレイラレコード より構成する。	

イ) ソフト仕様の補足説明

ソフト仕様に関する補足説明は、以下の通りです。

① ファイル編成 (順編成)

ファイルの先頭から順次記録を収録する方法です。

ファイル分割は、総務省府県コード順に並んだデータを都道府県の区切りで分割します。

表 2. 1. 2-3 ブロック分割表

分割 番号	該当都 道府県	分割 番号	該当都 道府県	分割 番号	該当都 道府県	分割 番号	該当都 道府県	分割 番号	該当都 道府県
01	北海道	11	埼玉	21	岐阜	31	鳥取	41	佐賀
02	青森	12	千葉	22	静岡	32	島根	42	長崎
03	岩手	13	東京	23	愛知	33	岡山	43	熊本
04	宮城	14	神奈川	24	三重	34	広島	44	大分
05	秋田	15	新潟	25	滋賀	35	山口	45	宮崎
06	山形	16	富山	26	京都	36	徳島	46	鹿児島
07	福島	17	石川	27	大阪	37	香川	47	沖縄
08	茨城	18	福井	28	兵庫	38	愛媛		
09	栃木	19	山梨	29	奈良	39	高知		
10	群馬	20	長野	30	和歌山	40	福岡		

② データ属性 (1バイト文字又は2バイト文字)

データの各1文字を1バイト(8ビット)で表す形式の文字を1バイト文字、データの各1文字を2バイト(16ビット)で表す形式の文字を2バイト文字と
いいます。

③ 内部コード (JIS 8 単位コード及び JIS 第1水準・第2水準)

電子計算組織内の処理において、文字等を表わすために用いる符号です。

(第5文字コード規定参照)

④ ラベル形式

ラベル形式は、図2. 1. 2-1、図2. 1. 2-2のとおりです。

図2. 1. 2-1 ラベル形式 (シングルボリューム)

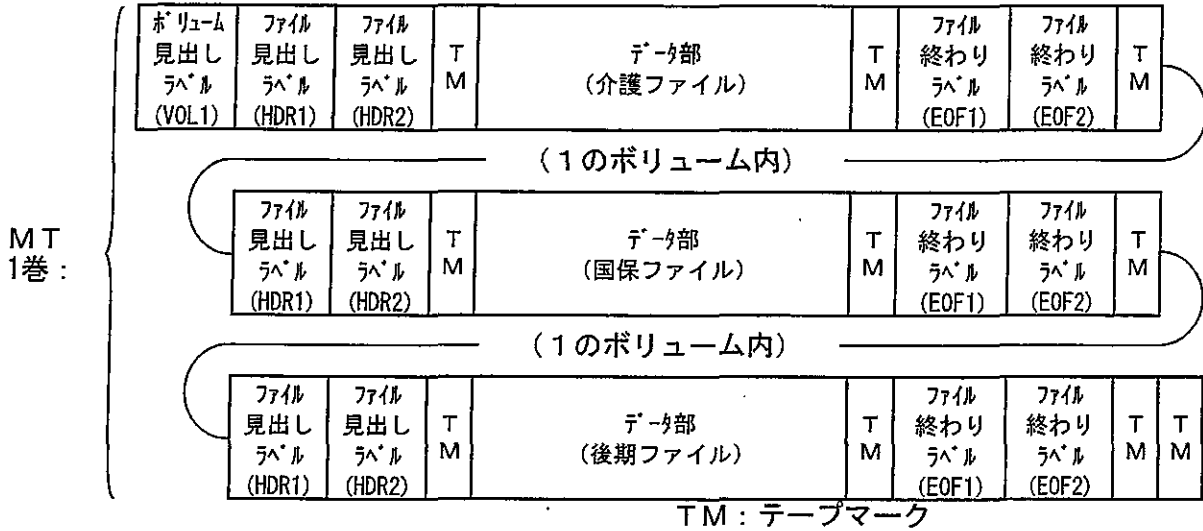
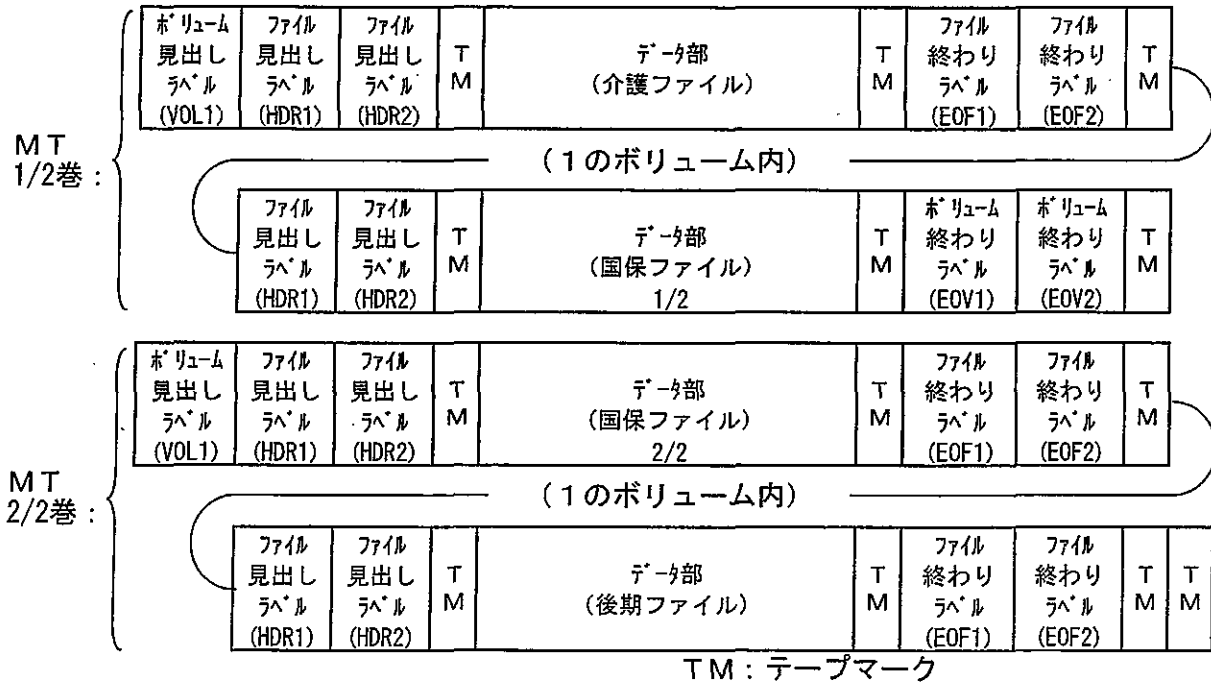


図2. 1. 2-2 ラベル形式 (マルチボリューム)



- (i) ボリューム見出しラベル：VOL 1
ボリュームの先頭に位置して、ラベル識別子、ラベル番号及びボリューム識別名が記録されている情報です。
詳細は、図 2. 1. 2-3、及び表 2. 1. 2-4 参照。
- (ii) ファイル見出しラベル：HDR 1、HDR 2
ファイルの先頭に位置して、そのファイルに関する情報が記録されている情報です。
詳細は、図 2. 1. 2-4~5、及び表 2. 1. 2-5~6 参照。
- (iii) データ部
実データブロックにより構成される情報です。
詳細は、図 2. 1. 3-1~3、2. 1. 4-1~3、及び表 2. 1. 3-1~3、2. 1. 4-1~3 を参照。
- (iv) ファイル終わりラベル：EOF 1、EOF 2
ファイルの末尾に位置して、HDR 1、HDR 2 ラベルと同様の内容を持ち、ファイル作成の終了時に記録される情報です。
詳細は、図 2. 1. 2-4~5、及び表 2. 1. 2-5~6 参照。
- (v) ボリューム終わりラベル：EOV 1、EOV 2
EOF 1、EOF 2 ラベルと同様な情報を持ち、ボリュームの切替時に記録される情報です。
詳細は、図 2. 1. 2-4~5、及び表 2. 1. 2-5~6 参照。

図 2. 1. 2-3

ファイル名	市町村回付情報	ファイル編成	順編成	ブロック長		記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長		シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
ファイルID		レコード形式		データ長	80バイト	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

ボリューム見出しラベル (VOL1)

項目名	ラベル識別子	ラベル番号	ボリューム識別名	予備	処理システム識別名	所有者識別名
文字種別	英 字	数 字	英 数字	英 数字	英 数字	英 数字
桁数	3	1	6	13	13	14
属性	C	C	C	C	C	C
バイト数	3	1	6	13	13	14

項目名	所有者識別名 (秘密)	予備	ラベル規格番号
文字種別		英 数字	英 数字
桁数		28	1
属性		C	C
バイト数		28	1

項目名	文字種別	桁数	属性	バイト数
文字種別				
桁数				
属性				
バイト数				

表 2. 1. 2-4 ポリリューム見出しラベル (VOL1) の項目説明

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	ラベル識別子	3	英字	C	“VOL”を設定すること。	
2	ラベル番号	1	数字	C	“1”を設定すること。	
3	ポリリューム識別名	6	英数字	C	ポリリュームを識別するための名称を設定すること。	表2.1.2-7参照
4	ポリリュームアクセス条件	1	英数字	C	本システムではアクセス制限を持たせないためスペース(制限無し)を設定すること。	ポリリュームにアクセスするための制限の有無を設定するもの。 ・スペース：制限無し ・スペース以外：制限有り
5	予備	13	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	処理システム識別名	13	英数字	C	本システムでは使用しないためスペースを設定すること。	ポリリューム見出しラベルセットを記録した処理システムの識別名を設定するもの。
7	所有者識別名	14	英数字	C	本システムでは使用しないためスペースを設定すること。	ポリリュームの所有者の識別名を設定するもの。
8	予備	28	英数字	C	スペースを設定すること。	
9	ラベル規格番号	1	英数字	C	数字 (JIS規格の規定に従っている) を設定すること。	

図2. 1. 2-4

ファイル名	市町村回付情報	ファイル編成	順編成	ブロック長		記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長		シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
ファイルID		レコード形式		データ長	80 ^h 1 ^h	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

ファイル見出しラベル (HDR 1)
 ファイル終りラベル (EOF 1)
 ボリューム終りラベル (EOV 1)

項目名	ラベル識別子	ラベル番号	ファイル識別名	ファイルセット識別名	ファイル分割番号	ファイル順序番号	世代番号	世代更新番号	作成日付	満了日付
文字	英	数	英数字	英数字	数	数	英数字	英数字	数	数
種別	字	字	1 7	6	4	4	4	2	6	6
桁数	3	1	C	C	C	C	C	C	C	C
属性	C	C	1 7	6	4	4	4	2	6	6
バイト数	3	1	1 7	6	4	4	4	2	6	6

項目名	ファイルアクセス番号	ブロック数	処理システム識別名	予備
文字	英数字	数	英数字	英数字
種別	1	6	1 3	7
桁数	C	C	C	C
属性	1	6	1 3	7
バイト数	1	6	1 3	7

項目名
文字
種別
桁数
属性
バイト数

ファイル見出しラベル (HDR1)
 表 2. 1. 2-5 ファイル終りラベル (EOF1) の項目説明
 ボリューム終りラベル (EOV1)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	ラベル識別子	3	英字	C	・ファイル見出しラベル: “HDR” ・ファイル終りラベル: “EOF” ・ボリューム終りラベル: “EOV”	
2	ラベル番号	1	数字	C	“1”を設定すること。	
3	ファイル識別名	17	英数字	C	ファイルを識別するための 名称であること。	表2.1.2-7参照
4	ファイルセット 識別名	6	英数字	C	ファイルセットを識別する ための名称である。(ボリ ューム識別名と同じ内容を 設定すること)	
5	ファイル分割番号	4	数字	C	最初のボリュームは “0001”、以後のボリ ュームは“0002”からの連番と すること。	
6	ファイル順序番号	4	数字	C	最初のファイルは “0001”、以後のファイル は“0002”からの連番と すること。	
7	世代番号	4	英数字	C	本システムでは使用しない ためスペースを設定するこ と。	ファイルの世代を “0001”から始まる4 桁の数字で設定するも の。
8	世代更新番号	2	英数字	C	本システムでは使用しない ためスペースを設定するこ と。	ファイルの世代更新番 号を2桁の数字で設定 するもの。

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
9	作成日付	6	数字	C	MTを作成した日付を以下の形式で設定すること。 1900年代：“_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代：“0yyddd” (0:半角ゼロ) yy:年(西暦の下2桁)を数字(“00”~“99”)を設定すること。 ddd:日(1月1日を“001”とし、1年間を通じた日付を数字(“001”~“366”)を設定すること。	
10	満了日付	6	数字	C	“作成日付”の90日後とすること。	“作成日付”と同じ形式で作成すること。
11	ファイルアクセス条件	1	英数字	C	本システムではアクセス制限を持たせないためスペース(制限なし)を設定すること。	ファイルにアクセスするための制限事項があるか否かを設定するもの。 ・スペース:制限無し ・スペース以外:制限有り
12	ブロック数	6	数字	C	ファイル見出しラベル: “000000” ファイル終りラベル: 当該ボリューム内の ブロック数 ボリューム終りラベル: 当該ボリューム内の ブロック数	
13	処理システム識別名	13	英数字	C	本システムでは使用しないためスペースを設定すること。	ラベルセットを記録した処理システムの識別名を設定するもの。
14	予備	7	英数字	C	スペースを設定すること。	

図2.1.2-5

ファイル名	市町村回付情報	ファイル編成	順編成	ブロック長		記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長			シングル/マルチ ファイルの別
ファイルID		レコード形式		データ長	80バイト	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

ファイル見出しラベル (HDR2)
 ファイル終りラベル (EOF2)
 ボリューム終りラベル (EOV2)

項目名	ラベル識別子	ラベル番号	レコード形式	ブロック長	レコード長	予備
文字	英	数	英	数	数	英数字
種別	字	字	字	字	字	35
桁数	3	1	C	5	5	C
属性	C	C	C	C	C	C
バイト数	3	1	1	5	5	35
5 10 15 20 25 30 35 40 45 50						

項目名	オフセット長	予備
文字	数	英数字
種別	字	28
桁数	2	C
属性	C	C
バイト数	2	28
55 60 65 70 75 80		

項目名
文字
種別
桁数
属性
バイト数

ファイル見出しラベル (HDR2)
 表2. 1. 2-6 ファイル終りラベル (EOF2) の項目説明
 ボリューム終りラベル (EOV2)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	ラベル識別子	3	英字	C	・ファイル見出しラベル： “HDR” ・ファイル終りラベル： “EOF” ・ボリューム終りラベル： “EOV”	
2	ラベル番号	1	数字	C	“2”を設定すること。	
3	レコード形式	1	英字	C	“F”を設定すること。	レコード形式を 区別するもの。 ・“F” ：固定長 ・“D” ：可変長 ・“U” ：不定長
4	ブロック長	5	数字	C	“29500”を設定すること。	ブロック当たり の最大文字数を 5桁の数字で設 定するもの。
5	レコード長	5	数字	C	“00500”を設定すること。	レコード形式に 対応してレコー ドの文字数を5 桁の数字で設定 するもの。 (固定長レコー ドに関しては、 実際のレコード 長を設定する。)
6	予備	35	英数字	C	スペースを設定すること。	オペレーティン グシステム用に 確保するもの。
7	バッファオフ セット長	2	数字	C	“00”を設定すること。	
8	予備	28	英数字	C	スペースを設定すること。	

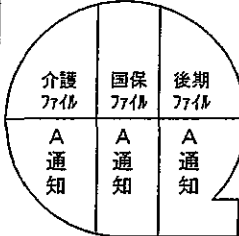
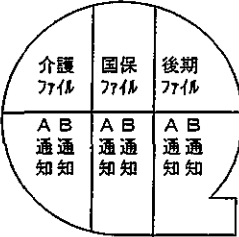
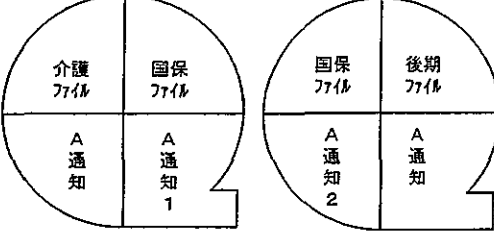
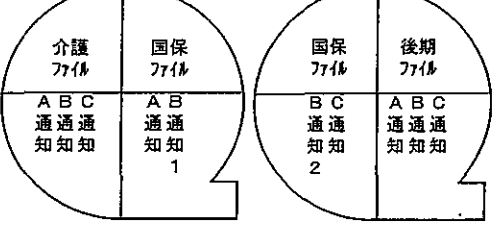
表 2. 1. 2-7 MTラベルの識別名

項番	ラベル	桁数	識別名	磁気テープファイルの種類	設定内容
1	VOL1	6	ボリューム 識別名	全種類MT共通	「00」 +ブロック分割番号 (表 2. 1. 2-3に示す 2桁の数字で指定) +ボリューム通番 (巻数の連番を2桁の数字で 指定)
2	HDR1 EOV1 EOF1	8	ファイル識別名	介護特別徴収対象者情報ファイル	「SHMT0053」
				介護特別徴収依頼処理結果情報ファイル	「SHMT0054」
				介護特別徴収結果情報ファイル	「SHMT0055」
				介護特別徴収依頼情報ファイル	「SHMT0028」
				介護特別徴収各種異動情報ファイル	「SHMT0029」
				国保特別徴収対象者情報ファイル	「SHMT1053」
				国保特別徴収依頼処理結果情報ファイル	「SHMT1054」
				国保特別徴収結果情報ファイル	「SHMT1055」
				国保特別徴収依頼情報ファイル	「SHMT1028」
				国保特別徴収各種異動情報ファイル	「SHMT1029」
				後期特別徴収対象者情報ファイル	「SHMT2053」
				後期特別徴収依頼処理結果情報ファイル	「SHMT2054」
				後期特別徴収結果情報ファイル	「SHMT2055」
				後期特別徴収依頼情報ファイル	「SHMT2028」
後期特別徴収各種異動情報ファイル	「SHMT2029」				
3		6	ファイルセット 識別名	全種類MT共通	ボリューム識別名と同一内容

⑤ ファイル形式

ファイル形式は、表2. 1. 2-8の通りです。

表2. 1. 2-8 ファイル形式

項番	ファイル形式	データの収録形態	磁気テープの形態
1	マルチファイル・ シングルボリューム	1巻1通知収録	
		1巻複数通知収録	
2	マルチファイル・ マルチボリューム	複数巻1通知収録	
		複数巻複数通知収録	

ファイルは、介護ファイル、国保ファイル、後期ファイルの順に格納して下さい。
尚、ファイル内のレコードが0件の場合でも、0件ファイルを格納して下さい。

⑥ レコード形式（固定長ブロック化レコード）

1ブロック中に一定の長さのレコードを複数個含んでいる場合、そのレコード形式を固定長ブロック化レコード（FB形式）といいます。

⑦ データ形式

ラベル形式に記載のデータ部のデータ形式は、図2. 1. 2-6のとおりです。

図2. 1. 2-6 データ形式

第1 ブロック 29,500バイト	ヘッダ	データ	~	データ	データ	データ
	レコード	レコード	~	レコード	レコード	レコード
	500バイト	500バイト		500バイト	500バイト	500バイト

※ 1ブロック内には最大59レコード収録可能

第2 ブロック 29,500バイト	データ	~	データ	トレイラ	ヘッダ	データ
	レコード	~	レコード	レコード	レコード	レコード
	500バイト		500バイト	500バイト	500バイト	500バイト
	}		}	}	}	}

第n ブロック 29,500バイト 以下	データ	~	データ	トレイラ
	レコード	~	レコード	レコード
	500バイト		500バイト	500バイト

以下、集信用・配信用の別に説明します。

2. 1. 3 レコード規定事項（集信用）

（1）市町村回付情報（介護/国保/後期）

集信（国保中央会→社会保険庁への情報回付）用のデータ形式は以下の通りです。

ヘッダレコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録するデータのまとまりの先頭を意味し、媒体コード等を収録します。

データレコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録する被保険者別の情報であり、個人特定用の情報、各種区分・各種年月日・各種金額等を収録します。

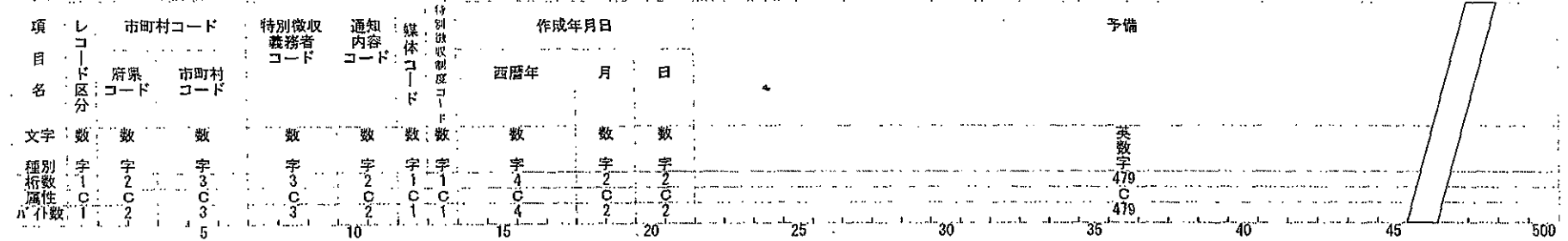
トレイラコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録するデータのまとまりの最終を意味し、合計件数・合計金額等を収録します。

詳細は図2. 1. 3-1～3及び表2. 1. 3-1～3を参照。

図2. 1. 3-1

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,500バイト	記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト		
ファイルID		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
						シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

ヘッダーレコード (集信用)



項目名

文字

種別
桁数
属性
バイト数

項目名

文字

種別
桁数
属性
バイト数

表2. 1. 3-1: ヘッダレコード(介護/国保/後期・集信用)

項番	項目名		桁数	文字種類	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市 町 村 コ ー ド	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体 コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者 コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定す ること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	通知内容別にコードを付与し、該 当通知のコードを設定すること。	コード表参照
5	媒体コード		1	数字	C	社会保険庁→市町村に回付する際 の媒体コードを設定すること。	コード表参照
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定するこ と。	コード表参照
7	作 成 年 月 日	西暦年	4	数字	C	レコード作成時の年月日を設定す ること。	留意事項 4.1.3「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予 備		479	英数字	C	スペースを設定すること。	

図2. 1. 3-2(1/4)

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,500バイト	記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト		
ファイルID		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
						シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

データレコード1 (集信用)

項目名	市町村コード		特別徴収 義務者 コード	通知 内容 コード	予備	特別徴収制度 コード	作成年月日			基礎年金番号	年金コード	予備	生年月日			性別
	府県 コード	市町村 コード					西暦年	月	日				西暦年	月	日	
文字 種別 桁数 属性 バイト数	数 1 C 1	数 2 C 2	数 3 C 3	数 3 C 3	数 2 C 2	英数字 1 C 1	数 4 C 4	数 2 C 2	数 2 C 2	数 10 C 10	数 4 C 4	英数字 3 C 3	数 4 C 4	数 2 C 2	数 2 C 2	数 1 C 1
	5				10		15		20	25	30	35	40		45	50

データレコード2

項目名	カナ氏名			シフト コード	漢字氏名		
文字 種別 桁数 属性 バイト数		カ ナ 25 C 25		記 号 3 X 3		漢 字 25 X 80	
	55	60	65	70	75	80	85

データレコード3

項目名	シフト コード	郵便番号	カナ住所
文字 種別 桁数 属性 バイト数	記 号 3 X 9	数 字 7 C 7	カ ナ 80 C 80
	105	110	115

図2. 1. 3-2(2/4)

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,500バイト	記録媒体	MT
ファイルID		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

データレコード4

項目名	カ	ナ	住	所
	(続	き)
文字				
種別 桁数 属性 バイト数				
	155	160	165	170
			175	180
				185
				190
				195
				200

データレコード5

項目名	シフト コード	漢	字	住	所
文字					
種別 桁数 属性 バイト数					
	205	210	215	220	225
					230
					235
					240
					245
					250

データレコード6

項目名									
文字									
種別 桁数 属性 バイト数									
	255	260	265	270	275	280	285	290	295
									300

図2. 1. 3-2(3/4)

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,500バイト	記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
ファイルID		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

データレコード7

項	漢 字 住 所									
目	(続 き)									
名										
文字										
種別 桁数 属性 バイト数	305	310	315	320	325	330	335	340	345	350

データレコード8

項				シフト	各種	処理	後期	各種年月日			各種金額欄
				コード	区分	結果	移	西曆年	月	日	金額1
目							管				
名							コード				
文字				記	数	数	数	数			数
種別 桁数 属性 バイト数				号	字	字	字	字			字
				3	2	2	1	8			11
				X	C	C	C	C			C
				8	2	2	1	8			11
	355	360	365	370	375	380	385	390	395	400	

データレコード9

項								予	備	
目	金額2			金額3						
名										
文字	数			数				英		
種別 桁数 属性 バイト数	字			字				数字		
	11			11				73		
	C			C				73		
	11			11				73		
	405	410	415	420	425	430	435	440	445	450

図2. 1. 3-2(4/4)

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,500バイト	記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
ファイルID		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

データレコード10

項 目 名	予 備		(続 き)							
文字										
種別 桁数 属性 バイト数	455	460	465	470	475	480	485	490	495	500
項 目 名										
文字										
種別 桁数 属性 バイト数										
項 目 名										
文字										
種別 桁数 属性 バイト数										

表2. 1. 3-2: データレコード(介護/国保/後期・集信用)

項番	項目名	桁数	文字種類	属性	説明	備考	
1	レコード区分	1	数字	C	“2”を設定すること。		
2	市 町 村 コ ー ド	府県コード 2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体 コードを設定すること。		
	市町村コード 3	数字	C				
3	特別徴収義務者コード	3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定す ること。	コード表参照	
4	通知内容コード	2	数字	C	通知内容別にコードを付与し、該 当通知のコードを設定すること。	コード表参照	
5	予 備	1	英数字	C	スペースを設定すること。		
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	特別徴収制度コードを設定するこ と。	コード表参照	
7	作 成 年 月 日	西暦年	4	数字	C	レコード作成時の年月日を設定す ること。	留意事項 4.1.3「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号	10	数字	C	特別徴収依頼通知、または追加依 頼通知においては、社会保険庁か ら回付される特別徴収対象者情報 、または追加候補者情報に収録さ れている内容をそのまま消去せず 作成すること。		
9	年金コード	4	数字	C	特別徴収対象者情報、または追加 候補者情報に収録されている年金 コードを設定すること。	コード表参照	
10	予 備	3	英数字	C	スペースを設定すること。		
11	生 年 月 日	西暦年	4	数字	C	生年月日を設定すること。	留意事項 4.1.3「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性 別	1	数字	C	性別コードを設定すること。	コード表参照	

項番	項目名		桁数	文字種類	属性	説明	備考
13	氏	カナ	25	カナ	C	氏名をカナ文字で設定すること。 (カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。)	留意事項 4.1.2「氏名」 欄参照
14		シフトコード	3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。	
15	名	漢字	25	漢字	X	氏名を漢字で設定すること。	留意事項 4.1.2「氏名」 欄参照
16		シフトコード	3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。	
17	住 所	郵便番号	7	数字	C	7桁にて設定すること。	
18		カナ	80	カナ	C	住所をカナ文字で設定すること。 島しょ以外の市町村については、 都道府県名は省略すること。 (カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。)	留意事項 4.1.1「住所」 欄参照
19		シフトコード	3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。	
20		漢字	80	漢字	X	住所を漢字で設定すること。 島しょ以外の市町村については、 都道府県名は省略すること。	留意事項 4.1.1「住所」 欄参照
21		シフトコード	3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。	
22	各種区分		2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定すること。	コード表参照
23	処理結果		2	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
24	後期移管コード		1	数字	C	後期移管コードを設定すること。 介護：スペースを設定すること。 国保：スペースを設定すること。 後期：後期として扱う対象者を示すコードを設定すること。	コード表参照 ※介護及び国保 では使用しない。
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	各通知内容に該当する各種年月日 (発生年月日等)を設定すること。	留意事項 4.1.3「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		

項番	項目名	桁数	文字種類	属性	説明	備考
26	金額1	11	数字	C	各通知内容に応じた金額を設定すること。(端数調整後の支払回数割保険料『10月定期支払』、変更後の仮徴収額)	留意事項 4.1.4「金額」 欄参照
	金額2	11	数字	C	各通知内容に応じた金額を設定すること。(定額の支払回数割保険料『10月定期支払』以外) ※特別徴収依頼通知のみ	
	金額3	11	数字	C	各通知内容に応じた金額を設定すること。(特別徴収対象年金の年金額) ※特別徴収依頼通知、特別徴収追加依頼通知のみ	
27	予備	73	英数字	C	スペースを設定すること。	

図 2. 1. 3-3

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,500バイト	記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
ファイルID		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ボリュウムの別	マルチ

トレイラーレコード1 (集信用)

項目名	市町村コード		特別徴収 義務者 コード	通知 内容 コード	予備	作成年月日			合計件数	合計金額	
	府県 コード	市町村 コード				西暦年	月	日		金額1	金額2
文字種別桁属性	数1 C	数2 C2	数3 C3	数2 C2	数1 C1	数4 C4	数2 C2	数2 C2	数9 C9	数11 C11	数11 C11
バイト数	1	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

トレイラーレコード2

項目名	金額3	予備
文字種別桁属性	数11 C11	数437 C437
バイト数	55	500

項目名

文字

文字種別桁属性

バイト数

表2. 1. 3-3: トレイラレコード(介護/国保/後期・集信用)

項番	項目名	桁数	文字種類	属性	説明	備考
1	レコード区分	1	数字	C	“3”を設定すること。	
2	市 町 村 コ ー ド	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体 コードを設定すること。	
	市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者 コード	3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定す ること。	コード表参照
4	通知内容コード	2	数字	C	通知内容別にコードを付与し、該 当通知のコードを設定すること。	コード表参照
5	予 備	1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	特別徴収制度コードを設定するこ と。	コード表参照
7	作 成 年 月 日	4	数字	C	レコード作成時の年月日を設定す ること。	留意事項 4.1.3「年月日」 欄参照
	西暦年	2	数字	C		
	月 日	2	数字	C		
8	合計件数	9	数字	C	通知内容コード毎の合計件数を設 定すること。	
9	合計金額				通知内容コード毎の合計金額を設 定すること。	
	金額1	11	数字	C	各種金額欄の金額1の合計を設定 すること。	留意事項 4.1.4「金額」 欄参照
	金額2	11	数字	C	各種金額欄の金額2の合計を設定 すること。	留意事項 4.1.4「金額」 欄参照
	金額3	11	数字	C	各種金額欄の金額3の合計を設定 すること。	留意事項 4.1.4「金額」 欄参照
10	予 備	437	英数字	C	スペースを設定すること。	

2. 1. 4 レコード規定事項（配信用）

（1）市町村回付情報（介護/国保/後期）

配信（社会保険庁→国保中央会への情報回付）用のデータ形式は以下の通りです。

ヘッダレコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録するデータのまとまりの先頭を意味し、媒体コード等を収録します。

データレコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録する被保険者別の情報であり、個人特定用の情報、各種区分・各種年月日・各種金額等を収録します。

トレイラコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録するデータのまとまりの最終を意味し、合計件数・合計金額等を収録します。

詳細は図2. 1. 4-1～3及び表2. 1. 4-1～3を参照。

図2. 1. 4-1.

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,500バイト	記録媒体	MT
ファイルID		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

ヘッダーレコード (配信用)

項目名	市町村コード		特別徴収 義務者 コード	通知 内容 コード	媒体 コード	特別徴収制度 コード	作成年月日			予備				
	府県 コード	市町村 コード					西暦年	月	日					
文字 種別 桁数 属性 バイト数	数 1 C 1	数 2 C 2	数 3 C 3	数 2 C 2	数 1 C 1	数 1 C 1	数 4 C 4	数 2 C 2	数 2 C 2	英数字 479 C 479				
							15	20	25	30	35	40	45	500

項目名

文字
種別
桁数
属性
バイト数

項目名

文字
種別
桁数
属性
バイト数

表2. 1. 4-1: ヘッダレコード(介護/国保/後期・配信用)

項番	項目名	桁数	文字種類	属性	説明	備考	
1	レコード区分	1	数字	C	“1”が設定される。		
2	市 町 村 コ ー ド	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体 コードが設定される。		
	市町村コード	3	数字	C			
3	特別徴収義務者 コード	3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定さ れる。	コード表参照	
4	通知内容コード	2	数字	C	通知内容別にコードを付与し、該 当通知のコードが設定される。	コード表参照	
5	媒体コード	1	数字	C	社会保険庁→市町村に回付する際 の媒体コードが設定される。	コード表参照	
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	特別徴収制度コードが設定され る。	コード表参照	
7	作 成 年 月 日	西暦年	4	数字	C	レコード作成時の年月日が設定さ れる。	留意事項 4.1.3「年月日」 欄参照
	月	2	数字	C			
	日	2	数字	C			
8	予 備	479	英数字	C	スペースが設定される。		

図2. 1. 4-2(1/4)

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,509バイト	記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
ファイルID		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

データレコード1 (配信用)

項目名	市町村コード			特別徴収 義務者 コード	通知 内容 コード	予備	特別徴収 制限 コード	作成年月日			基礎年金番号	年金コード	予備	生年月日			性別
	府県 コード	市町村 コード	区分					西暦年	月	日				西暦年	月	日	
文字	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数	数
種別 桁数 属性 バイト数	1 C 1	2 C 2	3 C 3	3 C 3	2 C 2	1 C 1	1 C 1	4 C 4	2 C 2	2 C 2	10 C 10	4 C 4	3 C 3	4 C 4	2 C 2	2 C 2	1 C 1
	5	5	5	3	10	1	1	15	2	2	25	30	35	40	4	4	45

データレコード2

項目名	カナ氏名			シフト コード	漢字氏名		
	カ	ナ	氏名		漢	字	氏名
文字	数	数	数	数	数	数	数
種別 桁数 属性 バイト数	25 C 25	25 C 25	25 C 25	3 X 3	25 X 50	25 X 50	25 X 50
	55	60	65	70	75	80	85

データレコード3

項目名	シフト コード	郵便番号	カナ住所
文字	数	数	数
種別 桁数 属性 バイト数	3 X 3	7 C 7	80 C 80
	105	110	115

図 2. 1. 4-2 (2/4)

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,500バイト	記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
ファイルID		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

データレコード4

項 目 名		カ	ナ	住	所				
		(続	き)				
文字									
種別 桁数 属性 バイト数									
	155	160	165	170	175	180	185	190	195

データレコード5

項 目 名		シフト コード		漢	字	住	所		
文字									
種別 桁数 属性 バイト数									
	205	210	215	220	225	230	235	240	245

データレコード6

項 目 名									
文字									
種別 桁数 属性 バイト数									
	255	260	265	270	275	280	285	290	295

図2. 1. 4-2(3/4)

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,500バイト	記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
ファイルID		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

データレコード7

項	漢 字 住 所									
目	(続 き)									
名										
文字										
種別										
桁数										
属性										
バイト数	305	310	315	320	325	330	335	340	345	350

データレコード8

項	シフト コード	各種 区分	処理 結果	後期 移管 コード 数	各種年月日			各種金額欄		
					西暦年	月	日	金額1		
目										
名										
文字										
種別										
桁数										
属性										
バイト数	355	360	365	370	375	380	385	390	395	400

データレコード9

項	予 備									
目	金額2		金額3							
名										
文字										
種別										
桁数	数字11C11		数字11C11		英数字73C73					
属性										
バイト数	405	410	415	420	425	430	435	440	445	450

図 2. 1. 4-2 (4/4)

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,500バイト	記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
ファイルID		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

データレコード1.0

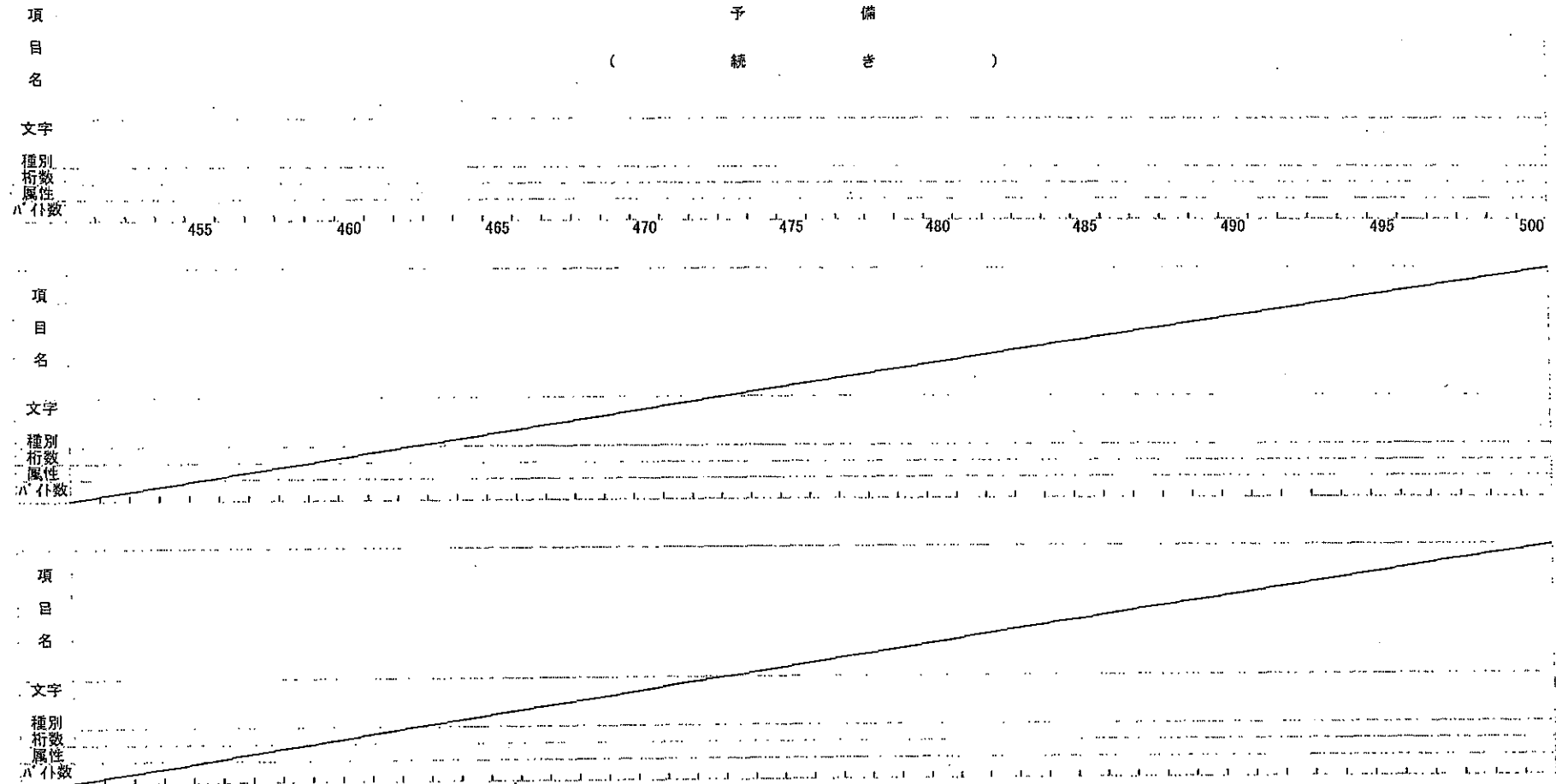


表2. 1. 4-2: データレコード(介護/国保/後期・配信用)

項番	項目名	桁数	文字種類	属性	説明	備考
1	レコード区分	1	数字	C	“2”が設定される。	
2	市 町 村 コ ー ド	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コ ードが設定される。	
	市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード	3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定され る。	コード表参照
4	通知内容コード	2	数字	C	通知内容別にコードを付与し、該当 通知のコードが設定される。	コード表参照
5	予 備	1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作 成 年 月 日	4	数字	C	レコード作成時の年月日が設定され る。	留意事項 4.1.3「年月日」 欄参照
	年	2	数字	C		
	月	2	数字	C		
8	基礎年金番号	10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴 収追加候補者情報の内容が設定され る。	
9	年金コード	4	数字	C	社会保険庁使用の年金コードが設定 される。	コード表参照
10	予 備	3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生 年 月 日	4	数字	C	生年月日が設定される。	留意事項 4.1.3「年月日」 欄参照
	年	2	数字	C		
	月	2	数字	C		
12	性 別	1	数字	C	性別コードが設定される。	コード表参照

項番	項目名		桁数	文字種類	属性	説明	備考
13	氏	カナ	25	カナ	C	氏名がカナ文字で設定される。 (カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。)	留意事項 4.1.2「氏名」 欄参照
14		シフトコード	3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”が設定される。	
15	名	漢字	25	漢字	X	氏名が漢字にて設定される。	留意事項 4.1.2「氏名」 欄参照
16		シフトコード	3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”が設定される。	
17	住 所	郵便番号	7	数字	C	7桁にて設定される。	
18		カナ	80	カナ	C	住所がカナ文字で設定される。 島しょ以外の市町村については、 都道府県名は省略される。 (カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。)	留意事項 4.1.1「住所」 欄参照
19		シフトコード	3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”が設定される。	
20		漢字	80	漢字	X	住所が漢字で設定される。 島しょ以外の市町村については、 都道府県名は省略される。	留意事項 4.1.1「住所」 欄参照
21		シフトコード	3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”が設定される。	
22	各種区分		2	数字	C	通知内容毎の各種区分が設定される。	コード表参照
23	処理結果		2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照
24	後期移管コード		1	数字	C	後期移管コードが設定される。 介護：スペースが設定される。 国保：スペースが設定される。 後期：後期として扱う対象者を 示すコードが設定される。	コード表参照 ※介護及び国保 では使用しない。
25	各種 年月 日	西暦年	4	数字	C	各通知内容に該当する各種年月日 (発生年月日等)が設定される。	留意事項 4.1.3「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		

項番	項目名	桁数	文字種類	属性	説明	備考
26	金額1	11	数字	C	各通知内容に応じた金額が設定される。(特別徴収保険料額、端数額調整後の支払回数割保険料『10月定期支払』、変更後の仮徴収額)	留意事項 4.1.4「金額」 欄参照
	各種金額欄 金額2	11	数字	C	各通知内容に応じた金額が設定される。(定額の支払回数割保険料『10月定期支払』以外) ※特別徴収依頼処理結果のみ	
	金額3	11	数字	C	各通知内容に応じた金額が設定される。(特別徴収対象年金の年金額) ※特別徴収対象者情報、特別徴収依頼処理結果、特別徴収追加候補者情報、特別徴収追加依頼処理結果のみ	
27	予備	73	英数字	C	スペースが設定される。	

図2. 1. 4-3

ファイル名	市町村回付情報 (介護/国保/後期レコード)	ファイル編成	順編成	ブロック長	29,500バイト	記録媒体	MT
		ラベル形式	JIS標準ラベル	レコード長	500バイト	シングル/マルチ ファイルの別	マルチ
ファイルID		レコード形式	固定長ブロック化	レコード数	59	シングル/マルチ ボリュームの別	マルチ

トレイラーレコード1 (配信用)

項目名	市町村コード			特別徴収 義務者 コード	通知 内容 コード	予備	特別徴収制度 コード	作成年月日			合計件数	合計金額	
	府県 コード	市町村 コード	市町村 区分					西暦年	月	日		金額1	金額2
文字 種別 桁数 属性 バイト数	数 字 1 C 1	数 字 2 C 2	数 字 3 C 3	数 字 3 C 3	数 字 2 C 2	英 数 字 1 C 1	数 字 1 C 1	数 字 4 C 4	数 字 2 C 2	数 字 2 C 2	数 字 9 C 9	数 字 11 C 11	数 字 11 C 11
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50			

トレイラーレコード2

項目名	金額3	予備
文字 種別 桁数 属性 バイト数	数 字 11 C 11	数 字 437 C 437
	55	95

項目名	文字
文字 種別 桁数 属性 バイト数	

表2. 1. 4-3: トレイラレコード(介護/国保/後期・配信用)

項番	項目名	桁数	文字種類	属性	説明	備考	
1	レコード区分	1	数字	C	"3"が設定される。		
2	市 町 村 コ ー ド	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体 コードが設定される。		
	市町村コード	3	数字	C			
3	特別徴収義務者 コード	3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定さ れる。	コード表参照	
4	通知内容コード	2	数字	C	通知内容別にコードを付与し、該 当通知のコードが設定される。	コード表参照	
5	予 備	1	英数字	C	スペースが設定される。		
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照	
7	作 成 年 月 日	西暦年	4	数字	レコード作成時の年月日が設定さ れる。	留意事項 4.1.3「年月日」 欄参照	
	年	月	2	数字			C
	日	日	2	数字			C
8	合計件数	9	数字	C	通知内容コード毎の合計件数が設 定される。		
9	合計金額				通知内容コード毎の合計金額が設 定される。		
	金額1	11	数字	C	各種金額欄の金額1の合計が設定 される。	留意事項 4.1.4「金額」 欄参照	
	金額2	11	数字	C	各種金額欄の金額2の合計が設定 される。	留意事項 4.1.4「金額」 欄参照	
	金額3	11	数字	C	各種金額欄の金額3の合計が設定 される。	留意事項 4.1.4「金額」 欄参照	
10	予 備	437	英数字	C	スペースが設定される。		

2. 2 コード関係

2. 2. 1 コードの種類

項番	コード名称	内 容
1	レコード区分	ヘッダ・データ・トレイラを区別するもの
2	市町村コード	市町村名をコード化したもの
3	特別徴収義務者コード	特別徴収義務者をコード化したもの
4	通知内容コード	回付情報の通知内容を区分するもの
5	媒体コード	回付する情報の媒体をコード化したもの
6	年金コード	年金種別をコード化したもの
7	性別コード	性別をコード化したもの
8	各種区分	各通知内容毎の事由又は、処理結果等を区分するもの
9	処理結果	各通知内容の処理結果をコード化したもの
10	特別徴収制度コード	特別徴収制度をコード化したもの
11	後期移管コード	後期高齢者医療の被保険者として扱う対象者をコード化したもの

2. 2. 2 コード仕様

項番	コード名称	コード	内 容	対象制度		
				介護	国保	後期
1	レコード区分	1	ヘッダレコード	○	○	○
		2	データレコード	○	○	○
		3	トレイラレコード	○	○	○
2	市町村コード	総務省で定められた地方公共団体コード参照		○	○	○
3	特別徴収義務者コード	501	国家公務員共済組合連合会	○	○	○
		686	日本私立学校振興・共済事業団	○	○	○
		687	農林漁業団体職員共済組合	○	○	○
		999	社会保険庁	○	○	○
4	通知内容コード	00	特別徴収対象者情報	○	○	○
		01	特別徴収依頼通知	○	○	○
		02	特別徴収依頼処理結果通知	○	○	○
		22	特別徴収結果通知	○	○	○
		30	特別徴収追加候補者情報	○	○	○
		31	特別徴収追加依頼通知	○	○	○
		32	特別徴収追加依頼処理結果通知	○	○	○
		41	資格喪失等の通知	○	○	○
		42	資格喪失等処理結果通知	○	○	○
		61	仮徴収額変更通知	○	○	○
		62	仮徴収額変更処理結果通知	○	○	○
		81	住所地特例該当者通知	○	○	○
		82	住所地特例該当者処理結果通知	○	○	○
		5	媒体コード	1	オープンMT (OMT)	○
2	フロッピーディスク (FD)			○	○	○
3	紙			○	○	○
4	カートリッジMT (CMT)			○	○	○
5	光磁気ディスク (MO)			○	○	○
6	回線			○	○	○

項番	コード名称	コード	内 容	対象制度				
				介護	国保	後期		
6	年金コード(特別徴収にかか る情報交換における年金コードである)	0120~29	国民年金老齢年金	○	○	○		
		0220~29		○	○	○		
		0320~29		○	○	○		
		0420~29		○	○	○		
		0520~29	国民年金通算老齢年金	○	○	○		
		0130~39	厚生年金保険老齢年金	○	○	○		
		0230~39	厚生年金保険通算老齢年金	○	○	○		
		0830~39	厚生年金保険特例老齢年金	○	○	○		
		0140~49	船員保険老齢年金	○	○	○		
		0240~49	船員保険通算老齢年金	○	○	○		
		0640~49	船員保険養老年金	○	○	○		
		0840~49	船員保険特例老齢年金	○	○	○		
		1150~59	老齢基礎年金	○	○	○		
		0100, 0160~69	退職年金(共済)	○	○	○		
		0200, 0260~69	通算退職年金(共済)	○	○	○		
		0300, 0360~69	減額退職年金(共済)	○	○	○		
		1350~59	障害基礎年金	○	○	○		
		2650~59	障害基礎年金(障害福祉年金裁定替え分)	○	○	○		
		5350~59	障害基礎年金(短期)	○	○	○		
		6350~59	障害基礎年金(20歳前)	○	○	○		
		2350~59	障害厚生年金	○	○	○		
		3350~59	職務上障害年金	○	○	○		
		0620~29	国民年金障害年金	○	○	○		
		0330~39	厚生年金保険障害年金	○	○	○		
		0340~49	船員保険障害年金	○	○	○		
		1300, 1370~79	障害共済年金	○	○	○		
		0500, 0560~69	障害年金(共済)	○	○	○		
		1450~59	遺族基礎年金	○	○	○		
		6450~59	遺族基礎年金(短期)	○	○	○		
		2450~59	遺族厚生年金	○	○	○		
		3450~59	職務上遺族年金	○	○	○		
		0430~39	厚生年金保険遺族年金	○	○	○		
		0530~39	厚生年金保険寡婦年金	○	○	○		
		0930~39	厚生年金保険通算遺族年金	○	○	○		
		0440~49	船員保険遺族年金	○	○	○		
		1400, 1470~79	遺族共済年金	○	○	○		
		0400, 0460~69	遺族年金(共済)	○	○	○		
		0900, 0960~69	通算遺族年金(共済)	○	○	○		
		7	性別コード	1	男子	○	○	○
				2	女子	○	○	○

項番	コード名称	コード	内 容	対象制度				
				介護	国保	後期		
8	各種区分	通知内容コード＝「00」：特別徴収対象者情報						
		01	新規者	○	○	○		
		02	前年度継続者	○	○	○		
		通知内容コード＝「01」：特別徴収依頼通知						
		01	特別徴収対象者	○	○	○		
		02	特別徴収対象者（住所地特例該当）	○	○	○		
		03	特別徴収非対象者	○	○	○		
		通知内容コード＝「22」：特別徴収結果通知						
		00	正常	○	○	○		
		01	失権	○	○	○		
		02	差止	○	○	○		
		03	支払年金額不足	○	○	○		
		05	特別徴収非該当（他制度による中止）	—	○	—		
		10	正常（75歳以上で国保特別徴収中）	—	○	—		
		通知内容コード＝「30」：特別徴収追加候補者情報						
		01	新規者	○	○	○		
		02	住所変更者	○	○	○		
		通知内容コード＝「31」：特別徴収追加依頼通知						
		01	特別徴収対象者	○	○	○		
		02	特別徴収対象者（住所地特例該当）	○	○	○		
		03	特別徴収非対象者	○	○	○		
		通知内容コード＝「41」：資格喪失等の通知						
		01	死亡	○	○	○		
		02	転出	○	○	○		
		03	特別事情	○	○	○		
		04	適用除外	○	○	○		
		通知内容コード＝「61」：仮徴収額変更通知						
		00	初期値	○	○	○		
		通知内容コード＝「81」：住所地特例該当者通知						
		01	住所地特例該当	○	○	○		
		02	住所地特例該当解除	○	○	○		
		9	処理結果	00	正常	○	○	○
				01	失権	○	○	○
02	差止			○	○	○		
03	支払年金額不足			○	○	○		
50	1レコード内単項目エラー			○	○	○		
51	相関エラー			○	○	○		
52	原簿突合エラー			○	○	○		
10	特別徴収制度コード	0	介護	○	—	—		
		1	国保	—	○	—		
		2	後期	—	—	○		
11	後期移管コード	0	初期値	—	—	○		
		1	65歳以上75歳未満の政令で定める程度の障害の状態にある旨の認定を受けたことにより後期として扱う後期移管対象者	—	—	○		

各種区分と処理結果区分との組合せ設定については
別紙「各種区分、処理結果区分コード対応表」参照

別紙 各種区分、処理結果区分コード対応表

通知内容		各種区分	処理結果	
コード	コード	内 容	コード	内 容
00	01	新規者	00	初期値
	02	前年度継続者		
01	01	特別徴収対象者		
	02	特別徴収対象者（住所地特例該当）		
	03	特別徴収非対象者		
02	通知内容コード「01」の内容を収録する			
			00	正常
			01	失権
			02	差止
			03	支払年金額不足
			50	1レコード内単項目エラー
			51	関連エラー
			52	原簿突合エラー
			通知内容コード「01」の各種区分が上記以外の場合	
			00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	関連エラー
52	原簿突合エラー			
22	00	正常	00	初期値
	01	失権		
	02	差止		
	03	支払年金額不足		
	05	特別徴収非該当（他制度による中止）		
	10	正常（75歳以上で国保特別徴収中）		
30	01	新規者	00	初期値
	02	住所変更者		
31	01	特別徴収対象者		
	02	特別徴収対象者（住所地特例該当）		
	03	特別徴収非対象者		

通知内容 コード	各種区分		処理結果	
	コード	内 容	コード	内 容
32	通知内容コード「31」の内容を収録する		通知内容コード「31」の各種区分が「01」「02」の場合	
			00	正常
			01	失権
			02	差止
			03	支払年金額不足
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
			通知内容コード「31」の各種区分が上記以外の場合	
			00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
			41	01
02	転出			
03	特別事情			
04	適用除外			
42	通知内容コード「41」の内容を収録する		00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
61	00	初期値	00	初期値
62	通知内容コード「61」の内容を収録する		00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
81	01	住所地特例該当	00	初期値
	02	住所地特例該当解除		
82	通知内容コード「81」の内容を収録する		00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー

3. 2 通知毎の仕様（介護/国保/後期）

3. 2. 1 特別徴収対象者情報ファイル仕様

(1) レコードの種類

特別徴収対象者情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 1-1のとおりです。

表3. 2. 1-1 レコードの種類

項番	項 目 (通知内容コード)	内 容
1	特別徴収対象者情報 (00)	毎年4/1を基準日とし、社会保険庁及び、各共済組合にて政令で定められた特別徴収対象条件を満たした年金受給者の情報を収録するレコードである。

※国保/後期については初回のみH19/10/1を基準日とする。

(2) レコードの収録項目

特別徴収対象者情報レコードの収録項目は表3. 2. 1-2、3. 2. 1-3、3. 2. 1-4のとおりです。

表3. 2. 1-2：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“00”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 1-3 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“00” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	基礎年金番号が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C	社会保険庁使用の年金コードが設定される。	コード表参照
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	生年月日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C	性別コードが設定される。	コード表参照
13	氏名	カナ	25	カナ	C	氏名(カナ、漢字)、シフトコードが設定される。	留意事項 4.1.2 「氏名」 欄参照
シフトコード		3	記号	X			
漢字		25	漢字	X			
シフトコード		3	記号	X			
17	住所	郵便番号	7	数字	C	郵便番号が設定される。	
18		カナ	80	カナ	C	住所(カナ、漢字)、シフトコードが設定される。	留意事項 4.1.1 「住所」 欄参照
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
22	各種区分		2	数字	C	通知内容毎の各種区分が設定される。	コード表参照
23	処理結果		2	数字	C	全桁“0”が設定される。	
24	後期移管コード		1	数字	C	後期移管コードが設定される。 介護：スペースが設定される。 国保：スペースが設定される。 後期：後期として扱う対象者を示すコードが設定される。	コード表参照 ※介護及び国保では使用しない。
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額2	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額3	11	数字	C	特別徴収対象年金の年金額が設定される。	
27	予備		73	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 1-4:トレイラレコード(介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“00”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

(3) レコード収録条件

社会保険庁では特別徴収対象者情報を以下に示す収録条件に従い作成します。

(情報収録条件)

- a. 市町村コードで昇順にソート
- b. 特別徴収義務者コードで昇順にソート

特別徴収対象者情報の収録例を図3. 2. 1-1に示します。

図3. 2. 1-1 特別徴収対象者情報の収録例

通知内容コード=「00」

a 市町村										b 市町村									
特別徴収対象者情報										特別徴収対象者情報									
年金保険者A					年金保険者B					年金保険者A					年金保険者B				
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

- (注)
- H … ヘッダレコード
 - D … データレコード
 - T … トレイラレコード

3. 2. 2 特別徴収依頼情報ファイル仕様

(1) レコードの種類

特別徴収依頼情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 2-1のとおりです。

表3. 2. 2-1 レコードの種類

項番	項 目 (通知内容コード)	内 容
1	特別徴収依頼通知 (01)	社会保険庁から回付された特別徴収対象者情報を基に本人特定及び支払回数割保険料額の決定を行なった特別徴収依頼通知を収録するレコードである。

※ 特別徴収依頼情報の作成にあたっては、社会保険庁から回付された特別徴収対象者情報の内容を消去せず、通知内容コード、支払回数割保険料額等の必要事項を上書きする形で作成してください。

具体的には、3. 1. 1「市町村回付情報の設定項目（年次）」記載のとおりですが、このうち「●」となっている項目について変更または消去を行った場合、年金保険者における処理が行えず、特別徴収ができなくなる場合がありますので留意してください。

(2) レコードの収録項目

特別徴収依頼通知レコードの収録項目は表3. 2. 2-2、3. 2. 2-3、3. 2. 2-4のとおりです。

表3. 2. 2-2：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“01”を設定すること。	
5	媒体コード		1	数字	C	媒体コード（社会保険庁→市町村）を設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースを設定すること。	

表3. 2. 2-3 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“01”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースを設定すること。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定すること。	コード表参照	
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”を設定すること。		
24	後期移管コード	1	数字	C	後期移管コードを設定すること。 介護：スペースを設定すること。 国保：スペースを設定すること。 後期：後期として扱う対象者を示すコードを設定すること。	コード表参照 ※介護及び国保では使用しない。	
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	依頼通知の発生日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	端数額調整後の支払回数割保険料（10月定期支払）を設定すること。 端数額調整がない場合は「金額2項目」の内容を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額2	11	数字	C	定額の支払回数割保険料（10月定期支払以外）を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額3	11	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
27	予備	73	英数字	C	スペースを設定すること。		

※国保／後期の初回（H20／2）については、金額1に定額の支払回数割保険料（10月定期支払以外）、金額2に全桁“0”を設定すること。

表3. 2. 2-4: トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
1	レコード区分	1	数字	C	“3” を設定すること。		
2	市町村コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。		
	市町村コード	3	数字	C			
3	特別徴収義務者コード	3	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。		
4	通知内容コード	2	数字	C	“01” を設定すること。		
5	予備	1	英数字	C	スペースを設定すること。		
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数	9	数字	C	データレコードの合計件数を設定すること。		
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額1の合計金額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額2	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額2の合計金額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額3	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
10	予備	437	英数字	C	スペースを設定すること。		

(3) レコード収録条件

特別徴収依頼通知の収録条件は以下のとおりです。

(情報収録条件)

- a. 市町村コードで昇順にソート
- b. 特別徴収義務者コードで昇順にソート
- c. 特別徴収対象者情報ファイルで回付したデータについてすべて収録

(留意事項)

- a. 通知内容コード「01」において、制度に変更が発生した受給権者のレコードは 変更後の制度のファイルに移し変えて収録することとする。

特別徴収依頼通知の収録例を図3. 2. 2-1に示します。

図3. 2. 2-1 特別徴収依頼通知の収録例

通知内容コード＝「01」

a 市町村										b 市町村									
特別徴収依頼通知										特別徴収依頼通知									
年金保険者A					年金保険者B					年金保険者A					年金保険者B				
H	D	D	T	H	D	D	T	H	D	D	T	H	D	D	T

- (注)
- H … ヘッダレコード
 - D … データレコード
 - T … トレイラレコード

3. 2. 3 特別徴収依頼処理結果情報ファイル仕様

(1) レコードの種類

特別徴収依頼処理結果情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 3-1のとおりです。

表3. 2. 3-1 レコードの種類

項番	項 目 (通知内容コード)	内 容
1	特別徴収依頼処理結果通知 (02)	特別徴収依頼通知に対しての年金保険者に関する処理結果を収録するレコードである。

(2) レコードの収録項目

特別徴収依頼処理結果レコードの収録項目は表3. 2. 3-2、3. 2. 3-3、3. 2. 3-4のとおりです。

表3. 2. 3-2 : ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“02”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 3-3: データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“02” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
22	各種区分		2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
23	処理結果		2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照
24	後期移管コード		1	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C		
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C		
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
27	予備		73	英数字	C		

表3. 2. 3-4: トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
1	レコード区分	1	数字	C	“3”が設定される。		
2	市町村コード	2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。		
	市町村コード	3	数字	C			
3	特別徴収義務者コード	3	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。		
4	通知内容コード	2	数字	C	“02”が設定される。		
5	予備	1	英数字	C	スペースが設定される。		
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。		
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数	9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。		
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの処理結果=「00」の各種金額欄・金額1の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額2	11	数字	C	データレコードの処理結果=「00」の各種金額欄・金額2の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額3	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
10	予備	437	英数字	C	スペースが設定される。		

(3) レコード収録条件

社会保険庁では特別徴収依頼処理結果を以下に示す収録条件に従い作成します。

(情報収録条件)

- a. 市町村コードで昇順にソート
- b. 特別徴収義務者コードで昇順にソート
- c. 特別徴収依頼通知で回付されたデータのみ全て収録

特別徴収依頼処理結果の収録例を図3. 2. 3-1に示します。

図3. 2. 3-1 特別徴収依頼処理結果の収録例

通知内容コード=「02」

a 市町村					b 市町村														
特別徴収依頼処理結果					特別徴収依頼処理結果														
年金保険者A			年金保険者B		年金保険者A			年金保険者B											
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

- (注) H … ヘッダレコード
D … データレコード
T … トレイラレコード

3. 2. 4 特別徴収結果情報ファイル仕様

(1) レコードの種類

特別徴収結果情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 4-1のとおりです。

表3. 2. 4-1 レコードの種類

項番	項 目 (通知内容コード)	内 容
1	特別徴収結果通知 (22)	特別徴収該当者の保険料の徴収内容を収録したレコードである。
2	特別徴収追加候補者情報 (30)	4月1日を基準日とした特別徴収対象者以外で、新たに4月2日～6月1日、6月2日～8月1日、8月2日～10月1日、10月2日～12月1日、12月2日～2月1日の期間ごとに、社会保険庁及び、各共済組合にて政令で定められた特別徴収対象条件を満たした年金受給者の情報を収録するレコードである。
3	特別徴収追加依頼 処理結果通知 (32)	特別徴収追加依頼通知に対しての年金保険者に関する処理結果を収録するレコードである。
4	資格喪失等処理結果通知 (42)	特別徴収該当者への資格喪失等の通知に対する処理結果を収録するレコードである。
5	仮徴収額変更処理結果通知 (62)	特別徴収該当者への仮徴収額変更通知に対する処理結果を収録するレコードである。
6	住所地特例該当者 処理結果通知 (82)	特別徴収該当者への住所地特例該当者通知に対する処理結果を収録するレコードである。

(2) レコードの収録項目

特別徴収結果通知レコードの収録項目は表3. 2. 4-2、3. 2. 4-3、3. 2. 4-4のとおりです。

表3. 2. 4-2：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“22”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 4-3: データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“22”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考		
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分が設定される。	コード表参照		
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”が設定される。			
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースが設定される。			
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	通知結果の発生日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照	
		月	2	数字	C			
		日	2	数字	C			
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	①各種区分＝「00」または「10」の場合：徴収した支払回数割保険料が設定される。 ②各種区分＝「00」または「10」以外の場合：全桁“0”が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」 欄参照	
		金額2	11	数字	C			全桁“0”が設定される。
		金額3	11	数字	C			全桁“0”が設定される。
27	予備	73	英数字	C	スペースが設定される。			

表3. 2. 4-4 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“22”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額1の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額3	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

特別徴収追加候補者情報レコードの収録項目は表3. 2. 4-5、3. 2. 4-6、3. 2. 4-7のとおりです。

表3. 2. 4-5：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“30”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

※特別徴収追加候補者情報がゼロ件の場合は、項番3特別徴収義務者コードは“999”が設定される。

表3. 2. 4-6 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“30” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	基礎年金番号が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C	社会保険庁使用の年金コードが設定される。	コード表参照
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	生年月日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C	性別コードが設定される。	コード表参照
13	氏名	カナ	25	カナ	C	氏名(カナ、漢字)、シフトコードが設定される。	留意事項 4.1.2 「氏名」 欄参照
シフトコード		3	記号	X			
漢字		25	漢字	X			
シフトコード		3	記号	X			
17	住所	郵便番号	7	数字	C	郵便番号が設定される。	
18		カナ	80	カナ	C	住所(カナ、漢字)、シフトコードが設定される。	留意事項 4.1.1 「住所」 欄参照
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

※特別徴収追加候補者情報がゼロ件の場合は、項番3特別徴収義務者コードは“999”、項番8基礎年金番号・項番9年金コード・項番12性別・項番17郵便番号は全桁“0”、項番11生年月日はレコード作成処理日、項番13カナ・項番18カナは桁数分半角スペース、項番15漢字・項番20漢字は桁数分全角スペース、が設定される。

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分が設定される。	コード表参照	
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”が設定される。		
24	後期移管コード	1	数字	C	後期移管コードが設定される。 介護：スペースが設定される。 国保：スペースが設定される。 後期：後期として扱う対象者を示すコードが設定される。	コード表参照 ※介護及び国保では使用しない。	
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額2	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額3	11	数字	C	特別徴収対象者年金の年金額が設定される。	
27	予備	73	英数字	C	スペースが設定される。		

※特別徴収追加候補者情報がゼロ件の場合は、項番22各種区分は全桁“0”が設定される。

表3. 2. 4-7:トレイラレコード(介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“30”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

※特別徴収追加候補者情報がゼロ件の場合は、項番3特別徴収義務者コードは“999”、項番8合計件数は“00000001”が設定される。

特別徴収追加依頼処理結果通知レコードの収録項目は表3. 2. 4-8、
3. 2. 4-9、3. 2. 4-10のとおりです。

表3. 2. 4-8：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“32”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 4-9: データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“32”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C		
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分		2	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。		
23	処理結果		2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照	
24	後期移管コード		1	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。		
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C			
		月	2	数字	C			
		日	2	数字	C			
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C			
		金額2	11	数字	C			全桁“0”が設定される。
		金額3	11	数字	C			特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。
27	予備		73	英数字	C	スペースが設定される。		

表3. 2. 4-10: トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“32” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収追加依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの処理結果=「00」の各種金額欄・金額1の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額3	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

資格喪失等処理結果通知レコードの収録項目は表3. 2. 4-11、3. 2. 4-12、3. 2. 4-13のとおりです。

表3. 2. 4-11：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“42”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 4-12: データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“42” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。		
23	処理結果	2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照	
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースが設定される。		
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C		
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
27	予備	73	英数字	C	スペースが設定される。		

表3. 2. 4-13: トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“42” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	資格喪失等の通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0” が設定される。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

仮徴収額変更処理結果通知レコードの収録項目は表3. 2. 4-14、3. 2. 4-15、3. 2. 4-16のとおりです。

表3. 2. 4-14: ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“62”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 4-15: データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“62”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。		
23	処理結果	2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照	
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースが設定される。		
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C		
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
27	予備	73	英数字	C	スペースが設定される。		

表3. 2. 4-16: トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“62” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	仮徴収額変更通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの処理結果=「00」の各種金額欄・金額1の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

住所地特例該当者処理結果通知レコードの収録項目は表3. 2. 4-17、
3. 2. 4-18、3. 2. 4-19のとおりです。

表3. 2. 4-17: ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“82” が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0” が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 4-18: データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“82”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考		
22	各種区分	2	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。			
23	処理結果	2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照		
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースが設定される。			
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。		
		月	2	数字	C			
		日	2	数字	C			
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C			
		金額2	11	数字	C			
		金額3	11	数字	C			
27	予備	73	英数字	C	スペースが設定される。			

表3. 2. 4-19: トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C		
4	通知内容コード		2	数字	C	“82”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	住所地特例該当者通知の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

(3) レコード収録条件

社会保険庁では特別徴収結果情報を以下に示す、収録条件に従い作成します。

(情報収録条件)

- a. 市町村コードで昇順にソート
- b. 通知内容コードで昇順にソート
- c. 特別徴収義務者コードで昇順にソート
- d. 資格喪失、仮徴収額変更、住所地特例該当者の各処理結果通知は該当データのみを回付

特別徴収結果情報ファイルの収録例を図3. 2. 4-1に示します。

図3. 2. 4-1 特別徴収結果情報ファイルの収録例

・通知内容コード=「22」、「32」、「42」、「62」、「82」

(注) H・・・ヘッダレコード、D・・・データレコード、T・・・トレイラレコード

a市町村																								
特別徴収結果				特別徴収追加依頼処理結果				資格喪失等処理結果				仮徴収額変更処理結果												
年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B										
H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T

a市町村				b市町村																									
住所地特例該当者処理結果				特別徴収結果				特別徴収追加依頼処理結果				資格喪失等処理結果																	
年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B															
H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T

b市町村																			
仮徴収額変更処理結果				住所地特例該当者処理結果															
年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B													
H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T

・通知内容コード=「30」、「32」、「42」、「62」、「82」

(注) H・・・ヘッダレコード、D・・・データレコード、T・・・トレイラレコード

a市町村																								
特別徴収追加候補者				特別徴収追加依頼処理結果				資格喪失等処理結果				仮徴収額変更処理結果												
年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B										
H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T

a市町村				b市町村																									
住所地特例該当者処理結果				特別徴収追加候補者				特別徴収追加依頼処理結果				資格喪失等処理結果																	
年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B															
H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T

b市町村																			
仮徴収額変更処理結果				住所地特例該当者処理結果															
年金保険者A		年金保険者B		年金保険者A		年金保険者B													
H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T	H	D	...	D	T

3. 2. 5 特別徴収各種異動情報ファイル仕様

(1) レコードの種類

特別徴収各種異動情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 5-1のとおりです。

表3. 2. 5-1 レコードの種類

項番	項 目 (通知内容コード)	内 容
1	特別徴収追加依頼通知 (31)	社会保険庁から回付された特別徴収追加候補者情報を基に本人特定及び支払回数割保険料額の決定を行った特別徴収追加依頼通知を収録するレコードである。
2	資格喪失等の通知 (41)	特別徴収該当者への被保険者資格喪失等の通知を収録するレコードである。
3	仮徴収額変更通知 (61)	特別徴収該当者への仮徴収額変更通知を収録するレコードである。
4	住所地特例該当者通知 (81)	特別徴収該当者への住所地特例該当者通知を収録するレコードである。

※ 特別徴収各種異動情報の作成にあたっては、氏名、住所、生年月日、性別等の基本的項目について、特別徴収依頼情報または特別徴収追加依頼情報の内容と同一のものとなるよう作成してください。

これらの基本的項目が特別徴収依頼情報または、特別徴収追加依頼情報の内容と異なる場合、年金保険者が管理する原簿との突合処理において、該当者がなく、原簿突合エラーとなり、更新処理が行なわれないこととなるので留意してください。

また、特別徴収追加依頼情報の作成にあたっては、社会保険庁から回付された特別徴収追加候補者情報の内容を消去せず、通知内容コード、支払回数割保険料額等の必要事項を上書きする形で作成してください。

具体的には、3. 1. 2「市町村回付情報の設定項目（月次）」記載のとおりですが、このうち「◆」となっている項目について変更または消去を行った場合、年金保険者における処理が行えず、特別徴収ができなくなる場合がありますので留意してください。

(2) レコードの収録項目

特別徴収追加依頼通知レコードの収録項目は表3. 2. 5-2、3. 2. 5-3、3. 2. 5-4のとおりです。

表3. 2. 5-2: ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分	1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市町村コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
	市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード	3	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード	2	数字	C	“31”を設定すること。	
5	媒体コード	1	数字	C	媒体コード(社会保険庁→市町村)を設定すること。	コード表参照
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	4	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
	月	2	数字	C		
	日	2	数字	C		
8	予備	479	英数字	C	スペースを設定すること。	

表3. 2. 5-3: データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“31”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C		
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースを設定すること。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
22	各種区分		2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定すること。	コード表参照
23	処理結果		2	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
24	後期移管コード		1	数字	C	後期移管コードを設定すること。 介護：スペースを設定すること。 国保：スペースを設定すること。 後期：後期として扱う対象者を示すコードを設定すること。	コード表参照 ※介護及び国保では使用しない。
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	依頼通知の発生日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	・各種区分＝’01’または’02’（特別徴収対象者）の場合、定額の支払回数割保険料（10月定期支払以外）を設定すること。 ・各種区分＝’03’（特別徴収非対象者）の場合、全桁“0”を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額3	11	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
27	予備		73	英数字	C	スペースを設定すること。	

表3. 2. 5-4 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
1	レコード区分	1	数字	C	“3” を設定すること。		
2	市町村コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。		
	府県コード	3	数字	C			
3	特別徴収義務者コード	3	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。		
4	通知内容コード	2	数字	C	“31” を設定すること。		
5	予備	1	英数字	C	スペースを設定すること。		
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収追加候補者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数	9	数字	C	データレコードの合計件数を設定すること。		
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額1の合計金額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額3	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
10	予備	437	英数字	C	スペースを設定すること。		

資格喪失等の通知レコードの収録項目は表3. 2. 5-5、3. 2. 5-6、3. 2. 5-7のとおりです。

表3. 2. 5-5 : ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“41”を設定すること。	
5	媒体コード		1	数字	C	媒体コード (社会保険庁→市町村) を設定すること。	コード表参照
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースを設定すること。	

表3. 2. 5-6 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“41”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている基礎年金番号を設定すること。 設定しない場合は、全桁“0”を設定すること。	
9	年金コード		4	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている年金コードを設定すること。	コード表参照
10	予備		3	英数字	C	スペースを設定すること。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	生年月日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C	性別コードを設定すること。	コード表参照
13	氏名	カナ	25	カナ	C	氏名をカナ文字で設定すること。 (カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。)	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照
シフトコード		3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。		
漢字		25	漢字	X	氏名を漢字で設定すること。	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照	
16	氏名	シフトコード	3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。	

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
17	郵便番号	7	数字	C	7桁にて設定すること。		
18	カナ	80	カナ	C	住所をカナ文字で設定すること。島しょ以外の市町村については、都道府県名は省略すること。(カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。)	留意事項 4.1.1 「住所」欄参照	
19	住所 シフトコード	3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。		
20	住所 漢字	80	漢字	X	住所を漢字で設定すること。島しょ以外の市町村については、都道府県名は省略すること。	留意事項 4.1.1 「住所」欄参照	
21	住所 シフトコード	3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。		
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定すること。	コード表参照	
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”を設定すること。		
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースを設定すること。		
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	資格喪失した発生日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
27	予備	73	英数字	C	スペースを設定すること。		

表3. 2. 5-7 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
1	レコード区分	1	数字	C	“3” を設定すること。		
2	市町村コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。		
	市町村コード	3	数字	C			
3	特別徴収義務者コード	3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照	
4	通知内容コード	2	数字	C	“41” を設定すること。		
5	予備	1	英数字	C	スペースを設定すること。		
6	特別徴収制度コード	1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数	9	数字	C	データレコードの合計件数を設定すること。		
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備	437	英数字	C	スペースを設定すること。		

仮徴収額変更通知レコードの収録項目は表3. 2. 5-8、3. 2. 5-9、3. 2. 5-10のとおりです。

表3. 2. 5-8 : ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“61”を設定すること。	
5	媒体コード		1	数字	C	媒体コード(社会保険庁→市町村)を設定すること。	コード表参照
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースを設定すること。	

表3. 2. 5-9 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“61”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている基礎年金番号を設定すること。 設定しない場合は、全桁“0”を設定すること。	
9	年金コード		4	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている年金コードを設定すること。	コード表参照
10	予備		3	英数字	C	スペースを設定すること。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	生年月日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C	性別コードを設定すること。	コード表参照
13	氏名	カナ	25	カナ	C	氏名をカナ文字で設定すること。 (カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。)	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照
シフトコード		3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。		
漢字		25	漢字	X	氏名を漢字で設定すること。	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照	
シフトコード		3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
17	郵便番号	7	数字	C	7桁にて設定すること。		
18	カナ	80	カナ	C	住所をカナ文字で設定すること。島しょ以外の市町村については、都道府県名は省略すること。（カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。）	留意事項 4.1.1 「住所」欄参照	
19	住所 シフトコード	3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。		
20	住所 漢字	80	漢字	X	住所を漢字で設定すること。島しょ以外の市町村については、都道府県名は省略すること。	留意事項 4.1.1 「住所」欄参照	
21	住所 シフトコード	3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。		
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定すること。	コード表参照	
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”を設定すること。		
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースを設定すること。		
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	各種区分の発生日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	変更後の仮徴収額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額3	11	数字	C		
27	予備	73	英数字	C	スペースを設定すること。		

表3. 2. 5-10: トレイルレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“01” を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数を設定すること。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額1の合計金額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額2	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースを設定すること。	

住所地特例該当通知レコードの収録項目は表3. 2. 5-11、3. 2. 5-12、3. 2. 5-13のとおりです。

表3. 2. 5-11: ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“81”を設定すること。	
5	媒体コード		1	数字	C	媒体コード(社会保険庁→市町村)を設定すること。	コード表参照
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースを設定すること。	

表3. 2. 5-12: データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“81”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている基礎年金番号を設定すること。 設定しない場合は、全桁“0”を設定すること。	
9	年金コード		4	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報に収録されている年金コードを設定すること。	コード表参照
10	予備		3	英数字	C	スペースを設定すること。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	生年月日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C	性別コードを設定すること。	コード表参照
13	氏名	カナ	25	カナ	C	氏名をカナ文字で設定すること。 (カナ文字については、カナ大文字のみ使用可とする。)	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照
シフトコード		3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。		
漢字		25	漢字	X	氏名を漢字で設定すること。	留意事項 4.1.2 「氏名」欄参照	
シフトコード		3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
17	郵便番号	7	数字	C	7桁にて設定すること。	
18	住 カナ	80	カナ	C	住所をカナ文字で設定すること。 島しょ以外の市町村については、 都道府県名は省略すること。（カ ナ文字については、カナ大文字の み使用可とする。）	留意事項 4.1.1 「住所」欄参照
19	住 シフトコード	3	記号	X	漢字シフトコード： 16進“1B2442”を設定すること。	
20	住 漢字	80	漢字	X	住所を漢字で設定すること。島し ょ以外の市町村については、都道 府県名は省略すること。	留意事項 4.1.1 「住所」欄参照
21	住 シフトコード	3	記号	X	カナシフトコード： 16進“1B284A”を設定すること。	
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定する こと。	コード表参照
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
24	後期移管コード	1	数字	C	スペースを設定すること。	
25	各種 年月日	西暦年 4 月 2 日 2	数字 数字 数字	C C C	住所地特例の該当の発生年月日を 設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
26	各種 金額欄	金額1 11 金額2 11 金額3 11	数字 数字 数字	C C C	全桁“0”を設定すること。	
27	予備	73	英数字	C	スペースを設定すること。	

表3. 2. 5-13: トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードを設定すること。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“81” を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードを設定すること。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数を設定すること。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースを設定すること。	

(3) レコード収録条件

特別徴収各種異動情報の収録条件は以下のとおりです。

(情報収録条件)

- a. 市町村コードで昇順にソート
- b. 通知内容コードで昇順にソート
- c. 特別徴収義務者コードで昇順にソート

(留意事項)

- a. 通知内容コード「31」において、制度に変更が発生した受給権者のレコードは 変更後の制度のファイルに移し変えて収録することとする。

特別徴収各種異動情報ファイルの収録例を図3. 2. 5-1に示します。

図3. 2. 5-1 特別徴収各種異動情報ファイルの収録例

通知内容コード=「31」、「41」、「61」、「81」

a市町村																			
特別徴収追加依頼通知									資格喪失等の通知										
年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C			年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C				
H	D	D	T	H	D	D	T	H	D	D	T	H	D	D	T
a市町村																			
仮徴収額変更通知									住所地特例該当者通知										
年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C			年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C				
H	D	D	T	H	D	D	T	H	D	D	T	H	D	D	T
b市町村																			
特別徴収追加依頼通知									資格喪失等の通知										
年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C			年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C				
H	D	D	T	H	D	D	T	H	D	D	T	H	D	D	T
b市町村																			
仮徴収額変更通知									住所地特例該当者通知										
年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C			年金保険者A			年金保険者B			年金保険者C				
H	D	D	T	H	D	D	T	H	D	D	T	H	D	D	T

(注) H … ヘッダレコード
D … データレコード
T … トレイラレコード

第4 留意事項

4. 1 項目設定共通事項

4. 1. 1 「住所」欄

- ① 住所欄は、島しょ以外の場合、都道府県名は省略し、市町村名以降を設定することとします。
 形式Ⅰ：政令指定都市の場合、市名＋区名＋町丁名以降を設定すること。
 形式Ⅱ：東京都23区の場合、区名＋町丁名以降を設定すること。
 形式Ⅲ：市の場合、市名＋町丁名以降を設定すること。
 形式Ⅳ：島しょの場合、都道府県名＋市町村名＋町丁名以降を設定すること。
 形式Ⅴ：上記以外の場合、郡名＋町村名＋町丁名以降を設定すること。
- ② カナ住所は、全てカナ大文字とします。
- ③ 漢字住所を省略する場合、「漢字住所」項目欄へは2バイト文字のスペースを設定することとします。
- ④ 住所間にスペースを設定する場合は、カナ住所では1バイト文字の、漢字住所では2バイト文字の連続しないスペースを1つ設定することとします。

表4. 1. 1-1 住所設定の規定事項（形式Ⅰ～Ⅴ共通）

項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
住所	カナ	80	英、数字 カナ、記号	C	左づめ。余り桁部には半角スペースを設定すること。	図4.1.1-1を参照。
	シフトコード	3	記号	X	16進“1B2442”を設定すること。	
	漢字	80	漢字	X	左づめ。余り桁部には全角スペースを設定すること。省略する場合は全桁に全角スペースを設定すること。	
	シフトコード	3	記号	X	16進“1B284A”を設定すること。	

※（文字種別欄）

漢字：2バイトの漢字・ひらがな・カタカナ・英字・数字・記号により設定の意。

以下に、形式Ⅰ～Ⅴにより具体例を示します。

4. 1. 2 「氏名」欄

- ① 氏名欄は、姓・名（ミドルネーム含む）を設定することとします。
なお、英字を含む場合は、アルファベット大文字を使用することとします。
- ② カナ氏名は、全てカナ大文字とすることとします。
- ③ 漢字氏名を省略する場合、「漢字氏名」項目欄へは2バイト文字のスペースを設定することとします。
- ④ 姓名間にスペースを設定する場合は、カナ氏名では1バイト文字の、漢字氏名では2バイト文字の連続しないスペースを1つ設定することとします。
また、外国人でミドルネーム等がある場合は、ファーストネームの後に、カナ、英字氏名ともに1バイト文字の連続しないスペースを1つ設定することとします。

表4. 1. 2-1 氏名設定の規定事項

項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
氏名	カナ	25	カナ、英字	C	左づめ。余り桁部には半角スペースを設定すること。	図4.1.2-1を参照。
	シフトコード	3	記号	X	16進“1B2442”を設定すること。	
	漢字	25	漢字	X	左づめ。余り桁部には全角スペースを設定すること。省略する場合は全桁に全角スペースを設定すること。	
	シフトコード	3	記号	X	16進“1B284A”を設定すること。	

以下に、氏名の設定方法について具体例を示します。

図4. 1. 2-1 氏名設定の具体例

(凡例) △ : スペース (2バイトモード) 、△ : スペース (1バイトモード)

① 漢字氏名を有する者の場合

(参考氏名) キョウサイ 知
共済 太郎

項目名	漢字氏名															
属性	漢字															
バイト	50															
設定値	共	済	△	太	郎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80

項目名	カナ氏名																		
属性	カナ、英字																		
バイト	25																		
設定値	キ	ヨ	ウ	サ	イ	△	タ	ロ	ウ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95

② 漢字氏名を有しない者の場合

(参考氏名) ジョン F ケネディ
JOHN F KENNEDY

項目名	漢字氏名																		
属性	漢字																		
バイト	50																		
設定値	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95

項目名	カナ氏名																		
属性	カナ、英字																		
バイト	25																		
設定値	シ	ン	△	エ	フ	ケ	ネ	デ	イ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95

4. 1. 3 「年月日」欄

表 4. 1. 3-1 年月日設定の具体例

(参考年月日) ・作成年月日(西暦) : 1999年10月1日

項目名	設定値	桁数	文字種類	属性	備考
作成年月日	19991001 ※	8	数字	C	西暦年4桁

※1桁の月、日の場合は必ず前に“0”を付加して、2桁にする。

4. 1. 4 「金額」欄

表 4. 1. 4-1 金額設定の具体例

(参考金額) ・各種金額1 : 2,500円

項目名	設定値	桁数	文字種類	属性	備考
各種金額1	0000002500 ※	11	数字	C	金額を右詰めに設定 ※

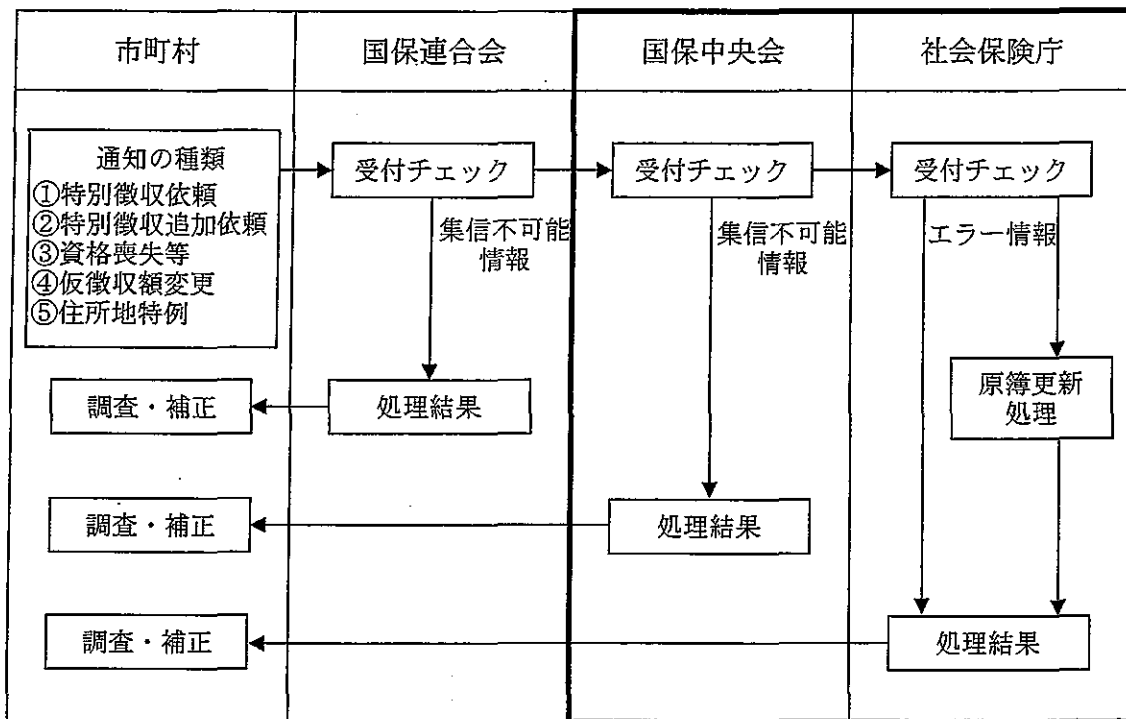
※金額桁数が11桁に満たない場合は、必ず前に“0”を付加して、11桁になるようにする。単位は、1円とする。

4. 2 エラーの取り扱いについて

各市町村からの通知について、媒体不良等読み込み不能の場合や項目設定内容不良の場合には、当該通知による処理を行うことができないため、そのまま媒体（通知）を返戻することとなります。

また、こうした場合には適正な補正をした上で、改めて通知をしていただくこととなりますが、特別徴収依頼の通知において事故が生じた場合は、当該年度中の特別徴収が行えず普通徴収により対応することもあり得るので注意が必要です。

図4. 2-1 各機関におけるエラーの取り扱い



(1) 受付チェック

国保中央会から回付された情報について、社会保険庁にて受付チェックを行い、エラーとなる情報が収録されていた場合、返戻することとなります。

エラーとなる情報のケースは、以下に示す通りです。

- ①媒体不良（物理的な不良）
- ②ハード仕様不良
（記録密度、トラック数の相違）
- ③ソフト仕様不良
 - ・ラベル不良
 - ・市町村コード相違
 - ・ファイル構成不良
 - ・ブロック長不良
 - ・レコード長不良
 - ・規定外文字使用、等

(2) 原簿更新処理

原簿の更新時に、単項目チェック（実在日チェック、属性チェック等）、社会保険庁が保有する原簿との突合等を実施します。

このチェックの結果によっては、市町村から依頼があった通りに変更ができないことがあります。この場合は、市町村から依頼があったデータに対して、処理結果区分に処理結果コードを付与し、返戻となります。（処理可能データに対しても、コード「00」を付与します。）

処理が不可能となるケースは、以下の通りです。

- ①1レコード内単項目チェック
 - ・数字項目におけるニューメリック不良
 - ・日付項目における実在日不良
 - ・コード・区分における存在不良
- ②1レコード内項目関連チェック
 - ・通知内容コードと各種区分、各種金額の関連不良
- ③レコード間関連チェック
 - ・ヘッダレコード・データレコード・トレイラレコード関連不良
- ④原簿更新時のレコード関連チェック
 - ・原簿との不突合（情報の不突合も含まれる）
 - ・「資格喪失等の通知」発生後の異動情報（仮徴収額変更通知等）
 - ・「特別徴収中止」発生後の異動情報（仮徴収額変更通知等）

第5 文字コード規定

5. 1 文字コード規定

①本仕様書で規定する文字コード規定は、表5. 1-1の通りです。

表5. 1-1 文字コード規定

項番	項目	内容	JIS規格
1	1バイト文字	1バイト文字はJIS8単位符号を使用し、使用可能文字は表5. 1-2のとおりである。なお、表中の空欄の箇所は使用不可とする。	JIS X 0201_1976
2	2バイト文字	2バイト文字はJISコード（JIS第一水準、JIS第二水準）を使用し、使用可能文字は表5. 1-3のとおりである。	JIS X 0208_1983

表5. 1-2 JIS8单位符号

$2^8 \sim 2^0$ / $2^7 \sim 2^4$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P						ー (長音)	タ	ミ		
1				1	A	Q						ア	チ	ム		
2				2	B	R						イ	ツ	メ		
3			#	3	C	S						ウ	テ	モ		
4			\$	4	D	T						エ	ト	ヤ		
5				5	E	U						オ	ナ	ユ		
6			&	6	F	V					ヲ	カ	ニ	ヨ		
7				7	G	W						キ	ヌ	ラ		
8			(8	H	X						ク	ネ	リ		
9)	9	I	Y						ケ	ノ	ル		
A			*		J	Z						コ	ハ	レ		
B			+		K							サ	ヒ	ロ		
C			.		L	¥						シ	フ	ワ		
D			-	=	M							ス	ヘ	ン		
E					N							セ	ホ	・ (濁点)		
F			/		O							ソ	マ	・ (半濁点)		

表5. 1-3 JISコード使用可能文字

項番	項目	内容	符号範囲	使用可否	使用不可符号
1	特殊文字	特殊な図形をもち区切りや印などに用いる文字			
1-1	間隔		1区 1点	全て使用可	無し
1-2	記述記号		1区 2点~37点	全て使用可	無し
1-3	括弧記号		1区38点~59点	全て使用可	無し
1-4	学術番号		1区60点~74点 2区26点~33点 2区42点~48点 2区60点~74点	一部使用不可	2区26点~33点 2区42点~48点 2区60点~74点
1-5	単位記号		1区75点~83点 2区82点~83点	一部使用不可	2区82点~83点
1-6	一般記号	1区84点~94点 2区 1点~14点 2区84点~89点 2区94点	一部使用不可	2区84点~89点 2区94点	
2	数字	0~9の10文字	3区16点~25点	全て使用可	無し
3	ローマ字	A B~Zの大文字及びa b~zの小文字	3区33点~58点 3区65点~90点	全て使用可	無し
4	平仮名	旧仮名を含めた五十音、濁音、半濁音、拗音、促音の文字	4区 1点~83点	全て使用可	無し
5	片仮名	旧仮名を含めた五十音、濁音、半濁音、拗音、促音の文字	5区 1点~86点	全て使用可	無し
6	ギリシア文字	A B~Ωの大文字及びα β~ωの小文字	6区 1点~24点 6区33点~56点	全て使用可	無し
7	ロシア文字	A B~Яの大文字及びa б~яの小文字	7区 1点~33点 7区49点~81点	全て使用可	無し
8	漢字	第一水準、第二水準の文字	16区 1点~ 47区51点 48区 1点~ 84区 4点	全て使用可	無し
9	罫線素辺	細線、太線、混在素線の文字	8区 1点~32点	全て使用不可	8区 1点~32点
10	その他領域	空き領域	上記以外	全て使用不可	空き領域は全て使用不可